



学校紹介 ～その30～

☞車椅子バスケットボランティアについて

8月21日(水)午後7時から、伊丹市の緑ヶ丘体育館で車椅子バスケットのボランティアに参加してきました。

バスケットボール専用につくられた車椅子の使用法を教わりながら、実際にゲームにも参加させてもらいました。



生徒の感想

○全員集合してあいさつしました。オレンジのハチマキの人がおもしろかったです。指導者の方が「工夫」を大事にして皆に教えてあげてって言われたので、教えてあげたいと思います。

○足を使わずに運動するのは難しいものだと思います。

○前に進むだけでも曲がってしまいます。後ろ向きに進む時はすごく怖いです。でもちょっとだけ出来るようになりました。すごく難しかったです。

○車イスバスケットは障害のある方と健常者が一緒に楽しめる素晴らしいスポーツでした。運動が苦手な私も楽しく出来ました。貴重な体験が出来て嬉しかったです。

○いろいろな所で工夫がされ、さまざまな人たちが住みやすい環境になればいいと思った。

○工夫をしたらみんなで楽しめると言っていた事が心に残りました。私も諦めてしまうのではなく、少しの工夫で物事を前向きに変えていきたいと思いました。楽しく新鮮な体験でした。

○足を使わない分、手を使うので思う様に進めず、その場で一回転したりしました。上手く車椅子を動かし、その上でパスやシュートをしないとイケないので難しかったです。頑張ってゴールを目指した

のはすごく楽しかった。

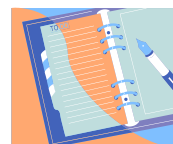
○自分はふつうのバスケットをしていたので、バスケットが出来るとただ単純にそれだけで、この車イスバスケットを選んだのですが、やってみると、ものすごく難しく、試合でのみんなの迫力がやばかったし、ぶつかり合いもやばかったです。でもそれよりも楽しかったです。ありがとうございました。



☞面接練習について

8月26日(月)から3日間、就職・進学希望者対象に面接練習を実施しました。

進学希望者は、早い生徒で9月早々に、就職希望者も9月中旬には試験が始まります。立ち居振る舞いから言葉遣い、応えるべき内容について繰り返し指導を行いました。



☞夏季休業中の各大会結果について

9月1日（日）に予定されていたソフトテニスの近畿大会予選は、雨のため9月8日（日）に延期になりました。生徒達はこの日、職場に無理を言って参加してくれたのですが、延期されると都合のつかない生徒がほとんどで、今大会は残念ながら棄権することになりました。

この日はバレーボールの阪神丹有地区大会も行われ、女子バレーボール部が2位となり、県大会出場が決定しました。




☞体育祭について

9月26日（木）に体育祭が予定されています。来年度は1学年のみとなるため、体育祭として実施できるのはおそらく今年が最後になるだろうと思われれます。

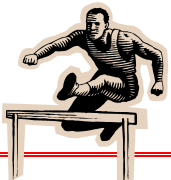
近隣の住民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどお願いいたします。

体育祭日程


9月25日（水）体 育 祭 予 行

- 17:25 給食配布開始（保健室前）
- 17:35 出欠確認、諸注意〔各HRにて〕
- 17:50 HR終了
- 18:00 開会式の体形に集合〔全体指示〕
- 18:10 各競技召集確認
- 19:40 全体集合 
- 19:50 解散

9月26日（木）体 育 祭

- 16:00 設営・準備
- 18:15 グラウンド集合〔出欠確認〕
- 18:20 開会式
- 18:40 競技開始 
- 20:45 閉会式

9月の行事予定

- 9月14日（土）……生活体験発表大会（阪丹）
- 17日（火）……就職選考開始
- 18日（水）……アートセラピー
- 22日（土）……全商情報処理検定試験
- 25日（水）……体育祭予行
- 26日（木）……体育祭 
- 27日（金）……体育祭予備日
- 30日（月）……カウンセリング

10月の行事予定

- 10月 2日（水）……人権教育行事
（いたみホール）
- 7日（月）……人権教育研修会（職員）
カウンセリング
- 9日（水）……人権HR
- 12日（土）……生活体験発表大会（県）
- 15日（火）
- ～18日（金）……中間考査
- 20日（日）……阪丹秋季総体
- 21日（月）……カウンセリング
- 23日（水）
- ～25日（金）……第3学年修学旅行
（東京方面）
- 28日（月）……カウンセリング
- 30日（水）……アートセラピー

編集後記

あれだけ暑かった夏はどこへやら、空には秋を思わせる羊雲が漂っています。

スポーツの秋、読書の秋など、秋を形容する言葉はたくさんありますが、木々の紅葉や落葉は人々を物寂しくさせます。

茶道の世界で重んじられる「侘び」や「寂び」といった美しさは、簡素な中にも上質を求め、枯れた味わいの深さを楽しむ日本独特の美意識です。茶室からのぞく紅葉や枯山水を愛でながらの一杯は、忙殺される今の日本人には味わいがたい優雅さになってしまいました。

古典の世界では、風流を解する人を「心ある人」と言います。時間にせかされながらペットボトルのお茶をがぶ飲みする私たちは、差し詰め「心なき人」なのでしょう。

せめて「味覚の秋」くらいはゆったりと楽しみたいものです。

